

# ふるさと歴史散歩 251

～松前史談会レポート～

## 長建寺、来迎寺、ロシア兵墓地をめぐる I

最初に向かうのは、「秋はモミジの長建寺」といわれるほど美しい「池泉庭園」がある長建寺（浄土宗）である。もともとは旧城下の松前町にあったが、慶長8（1603）年に加藤嘉明が北からの敵の来襲に備えて前線基地として考えた寺の一つとして現在地に移建されたという。

山門から入ったすぐの場所に、漂泊の俳人種田山頭火の句碑「もりもりあがる雲へあゆむ」と高橋一句の句碑「母と行くこの細径のたんぽぽの花」が左右に向かい合うように建っている。高橋一句は、山頭火のよき理解者、援助者で山頭火を敬愛し、その最期も見守った人で、松山大学で33年間講師・教授を勤め、講演は大衆の心を打ったといわれている。二人は肝胆相照らす仲であった。

境内には他に松尾芭蕉、正岡子規の句碑、墓地には子規、秋山真之の和歌の師・井手真樟（正雄）の墓、後藤又兵衛関連の五輪塔、永井ふさ子の一人墓などがあり見所は多い。

長建寺の庭園へ向かう。江戸初期の造園技術を伺える庭園は南北に池泉があり、その中に中島を築きこれ

に石橋が架けられており、散策しながら眺める紅葉は目を見張るものである。また、水中にせり出している「天岳楼」と呼ばれる書院は、豪華さと力強さと優美さが溢れており、素晴らしい建物であった。ちょうど書院では、渡壁氏（東温市在住）の写真展が開催中で見学を兼ね中へ入る。建物からは庭園の眺めとともに、素晴らしい写真の数々とあわせて堪能することができた。次号に続く（宮内祐記）。

4月11日㊤の歴史散歩は、御面雨乞いの地（東温市）を訪ねます。8時30分に松前庁舎南駐車場を出発。交通費1,000円。お申し込みは鷲野まで。



1 長建寺 長建寺は周辺の寺院同様、昭和20(1945)年の戦災で焼失し、昔の面影はなくなったといわれている。書院からの眺めは池の水面に映ることもあり、四季折々に美しい。特に春の新緑、秋の紅葉の頃は一層の美しさを見せてくれる。



2 子規の句碑 庭園の前には、子規の句碑「筆に声あり 叢の竹を 打つごとし」(写真右奥)とその近くには松尾芭蕉の句碑「よく見れば 薺花さく かきねかな」がある。

松前史談会（鷲野） ☎ 080-5666-5439

【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日  
 ◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457  
 ◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313  
 ◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

# community learning center 公民館 だより

## 北公民館 毎月順番に活動内容をお届け！ 北公カラオケフェス



㊤最後は参加者みんなで合唱  
 ㊦友達と一緒にダンスを披露



2月1日、北公民館でカラオケフェスが開催されました。当日は小中学生27人が参加し、Mrs. GREEN APPLE、Snow Manや嵐など計40曲を熱唱しました。また岡田中学校ボランティア部の生徒たちが、受け付け対応をしたり、小道具を用いて会場を大いに盛り上げてくれました。

最初は人前で歌うのが恥ずかしいと緊張していた出演者でしたが、本格的なステージで大興奮。曲に合わせてダンスをしたり、友達や家族と一緒に歌ったり素晴らしい歌唱を披露してくれました。出演者は、大きなステージで好きな曲を歌うことができ、充実した1日を過ごすことができました。この中から、将来はもっと大きなステージに立つアーティストが誕生するかもしれません。

# Let's Enjoy Books

## ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時  
 ◆問い合わせ ☎ 985-4140 FAX 985-1386  
<https://www.i-masaki.jp/library/>  
 ◆4月の休館 30日㊤

おはなし会  
 18日㊤  
 11時～  
 文化センター2階  
 ふるさと学習室

### ◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶梅咲く頃にまた会おう  
 迂回ひなた・著  
 講談社



肝試しをした帰り道、大学生の若梅は声をかけられる。それは、仲間の体に移った、死んだはずの初恋の人だった。「もう一度会いたい」という願いが起す、タイムリミットラブストーリー。

▶サチコ 群ようこ・著  
 幻冬舎



「褒められもせず、苦にもされず」そういう人で55年生きてきたサチコ。早期退職して始めたアルバイトの中で、遅ればせながら人生の色々を学んでいく。

▶ペンション・ワケアツテ 八木沢里志・著  
 ポプラ社



「ワケアツテ」のオーナーが宮むと噂の「ペンション・ワケアツテ」。不安や秘密を抱えて訪れる「ワケアツテ」な人々が、明日への希望を見つけていく、ヒーリング小説。



▶『100万回生きたねこ』のナゾを解く  
 宮崎哲弥・著  
 筑摩書房

世界中で読まれ、感動を呼び起こしてきた大ロングセラー絵本。この物語にはいくつかのナゾがあった。とらねこはなぜ100万と1回目で死んだのか？生と死と愛を見つめ直した1冊。



▶わたしの服はどこからきてどこへいくの？  
 鎌田安里紗・著  
 マルティンメンド有加・著  
 晶文社

環境や社会に配慮したサステナブルファッション。自分の消費行動はそれから外れた選択をしていないのか。服と人の「より良い関係」を考えた、7章の報告書。



▶わかったさんのマシュマロ  
 永井郁子・作・絵  
 寺村輝夫・原案  
 あかね書房

「わかつたわかつた」が口癖のわかつたさん。今日も配達先で不思議なできごとに会います。巻末のレシピは今も健在。寺村さんの元シリーズを引き継ぎ、懐かしいのに新しい、わかつたさんのシリーズ。